

目 次

第4版はしがき

はしがき

プロローグ	1
1 本書の目的	1
2 本書の内容	3
3 本書を読む際に気を付けるべきこと	6
4 法律学を学ぶ意義と卒業後の進路	9

第I部 法の世界

第1章 「社会」について考えよう	17
1 社会って何だろう	17
2 社会をなぜ作るのだろうか——社会があることのメリット	20
3 社会があることによる負担・課題	23
4 社会あるところ法あり	26
5 言葉の整理——「社会」と「法」	27
6 ま と め	27
第2章 社会と紛争と法	29
1 「紛争」とは	29
2 ルールに基づく紛争解決	34
3 法の分類	38
4 ま と め	45

第3章 紛争を法的に解決する	46
1 はじめに	46
2 法の適用	47
3 法の解釈	54
4 まとめ	59
第4章 民法——契約法・不法行為法	60
1 はじめに	60
2 契約法	62
3 不法行為	69
4 民法——契約・不法行為以外の領域	71
5 まとめ	72
第5章 刑法——犯罪と刑罰	73
1 刑法とは	73
2 従来の反省に立った近代刑法の原則	79
3 刑事責任をめぐる諸学問	83
4 まとめ	85
第6章 行政活動と法——民法と刑法でなぜ足りないのか？	86
1 行政法にはどのような法律が含まれるのか	86
2 理容業・美容業にみる行政法	88
3 行政法の意義——民法と刑法でなぜ足りないのか？	93
4 行政法の構造	95
5 まとめ	99
第7章 裁判制度の仕組み	100
1 手続法というルール	100
2 刑事訴訟	100
3 民事訴訟	105
4 審級制度	109
5 まとめ	112

第8章 法と正義	114
1 はじめに	114
2 三種類の「正義」	115
3 形式的正義・実質的正義・手続的正義と法	122
4 ま と め	126

第Ⅱ部 法学部で学ぶ

第9章 法学部でどう学ぶ？	131
1 はじめに	131
2 どのような知識を身につけるか	132
3 学習のつまずきの石	135
4 ま と め	145

第10章 定期試験・レポート試験を受ける	146
1 はじめに	146
2 論 述 試 験	146
3 レポート試験	152
4 ま と め	162

第11章 法学部生の1日	163
1 はじめに	163
2 大学の履修制度	164
3 大講義の受講	166
4 ゼミの受講	171
5 ま と め	178

エピソード	179
--------------------	-----

「年齢と法」Q&A 目次

Q1 4月1日生まれと学年 …………… 9	Q9 権利をもつことのできる年齢 …… 83
Q2 成年年齢 …………… 23	Q10 賭け事 …………… 91
Q3 遺言の作成 …………… 31	Q11 15歳未満の者の労働 …………… 103
Q4 脳死移植のドナー …………… 39	Q12 子どものテレビ出演 …………… 117
Q5 性的自己決定 …………… 49	Q13 定年年齢 …………… 135
Q6 他人に損害を与える行為と責任 … 57	Q14 飲酒や喫煙 …………… 147
Q7 刑事責任 …………… 65	Q15 選挙権 …………… 157
Q8 少年法 …………… 75	Q16 裁判員・検察審査員 …………… 171